

招 集 期 日	平成 3 0 年 8 月 8 日 (水)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 2 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春山教子教育長職務代理者	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	須永教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	水野スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会	教育長	8 月定例教育委員会を開会		
日程第 1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する事件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程で非公開とすべき案件はないため全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	7 月定例教育委員会の会議録について諮った		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 について学校教育課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
日程第2 報告事項1 平成30年度教科書展 示会の結果について	学校教育課長	<p>6月12日から6月28日までの期間で、羽生北小学校内の羽生教科書センターにて開催した。開催期間中493人が来場した。今年度は中学校の特別の教科道德の教科書採択の年であるため、来場者は特別の教科道德の教科書を中心に見ていた。</p>
	教育長	<p>報告事項2から7について生涯学習課長から説明を求めた。</p>
報告事項2 第21回羽生市吹奏楽 フェスティバルの開 催について	生涯学習課長	<p>吹奏楽を愛する学校・団体に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、参加者相互の交流と技術の向上に資するとともに、市民に吹奏楽視聴の場を開放し、地域文化の振興に寄与することを趣旨として、10月7日に産業文化ホールの大ホールで開催する。中学校の部は市内3校に加え市外から4校、高校の部は市内3校と市外から2校、一般の部は行田市民吹奏楽団、全13団体が参加を予定している。入場料は無料である。</p>
報告事項3 平成30年度 羽生市 人権教育指導者研修 会の開催について	生涯学習課長	<p>市内の各種団体・関係機関並びに事業所の中で指導的立場にある方が、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する正しい認識と理解を深めることにより、人権教育指導者としての役割を担い、もって人権教育の推進を図ることを目的とし、9月8日から11月10日までの期間で全5回にわたり開催する。講義の内容は、第1回は「今あらためて考える同和問題」、講師は部落解放同盟埼玉県連合会書記長 小野寺一則氏、第2回は「命の輝き～車イスから見える世界ってけっこう素敵～」、講師は元幼稚園教諭・保育士 又野亜希子氏、第3回は「子ども・女性の人権」、講師は子育てと人権教育アドバイザー 関根トミ子氏、第4回は「性別から見る多様性と人権」、講師はダイバーノン代表 飯田亮瑠氏、第5回は「現在ある差別事象について」、講師は羽生市総務部次長兼人権推進課長 根岸邦雄氏を予定している。5回の研修会のうち、3回以上受講された方を研修会修了者とし、修了証を授与する。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 北埼玉地区PTA連絡協議会役員等研修会兼羽生市PTA連合会家庭教育研修会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>家族や家庭を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭教育の重要性を再認識するとともに、子育てに必要な知恵を学び、家庭・学校・地域が一体となって安心して子育てできる環境づくりを推進する。また、研修会を開催することでPTAの会員等としての資質を高めるとともに、PTA活動の活性化を図ることを目的として、北埼玉地区PTA連絡協議会、羽生市PTA連合会主催のもと、9月27日に、産業文化ホールにて開催する。開会行事の後、「しあわせ脳に育てよう～脳育ての黄金ルール～(仮)」と題し、株式会社感性リサーチ代表取締役 黒川伊保子氏を講師として講演会を行う。その後、北埼玉地区PTA広報紙コンクールの表彰式を行う予定である。参加者は、北埼玉地区の各校PTA会員であり教職員を含む。参加費は無料で、1歳以上の未就学児について、希望に応じ託児サービスを行う。</p>
<p>報告事項5 高校生インストラクター講座「介護に役立てよう!!ハンドセラピー」の開催について</p>	生涯学習課長	<p>地域の高校生が学生生活や部活動で培ったスキルや若いエネルギーによって、地域社会の活性化を図るとともに、高校生が講師として、地域の方々を対象とした講座を主体的に企画・立案することで、地域社会への積極的な参画意識の醸成を図ることを目的として実施する。高校生インストラクター講座は、今年度は羽生実業高校、羽生第一高校、誠和福祉高校の3回を予定しており、今回が第一弾である。10月27日に、誠和福祉高等学校を会場として同高等学校の福祉科の生徒5名を講師として開催する。講座内容は、手や足、背中などを両手で優しくマッサージすることで、お互いの親密なコミュニケーションや、安心感、信頼感に繋がる効果が期待できる、ハンドセラピー教室とし、参加対象者は市内在住・在勤・在学の小学生以上の方、募集人数は15名、参加費は無料である。</p>
<p>報告事項6 「羽生学講座Ⅷ」の開講について</p>	生涯学習課長	<p>今回は明治維新以降の時代が変化する中での羽生市域の村々について、産業・交通・教育などの視点から、当該研究に関する見識が深い講師を招き、知識と理解を深めると共に今後の調査研究の足がかりを探る。10月6日から2月16日</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 見学会「宝蔵寺沼ムジナモ自生地を訪ねる」の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>までの期間で全 5 回に渡り羽生市民プラザ及びワークヒルズ羽生を会場として開催する。募集人数は 20 名とする。内容は、第 1 回は「埼玉の近代」、講師は埼玉県立歴史と民俗の博物館 井上かおり氏、第 2 回は「埼玉県内の繊維産業」、講師は明治大学教授 白戸伸一氏、第 3 回は「自由民権運動一通見社一」、講師は埼玉県文書館 佐藤美弥氏、第 4 回は「教育史」、講師は帝京大学総合博物館学芸員 甲田篤郎氏、第 5 回は「埼玉県東部地区における近代の交通」、講師は元蓮田市社会教育課長 田中和之氏を予定している。</p> <p>7 月 29 日に開催した。朝のうちは雨が降ったが、やがて晴れて絶好の開催日和となった。参加人数は市外からの 3 名を含む 9 名であった。三田ヶ谷農村センターでムジナモ及び自生地に関する解説を行ったあと、現地に赴いた。自生地ではムジナモの花が咲いており、参加者は感激の声をあげていた。7 月 22 日に TBS の「サンデーモーニング」で宝蔵寺沼ムジナモ自生地が紹介されたため、番組を観た都内の人も参加し、当日は、東京新聞の取材もあった。また、7 月 29 日の開催に参加できない市民のために、7 月の毎週水曜日に宝蔵寺沼ムジナモ自生地一般公開を実施したところ、延べ 20 名が参加した。自生地の一般公開については、来年は 8 月上旬まで実施することを検討していく。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項 8 から 12 についてスポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項8 第36回羽生市教育長杯争奪中学野球大会の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>大会を通じ、参加校のチームワークと技術の向上を図ると共に近隣中学校野球部の交流を深めることを目的とし、9 月 8 日、9 日の 2 日間で羽生中央公園野球場にて開催する。市内 3 中学校のほか、さいたま市、加須市、行田市から 5 校を招待し、合計 8 校の参加を予定している。過去 3 年間は、さいたま市大谷場中学校が優勝しているので、今年度はぜひ羽生市の中学校に優勝してほしいと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 第32回羽生市民体育祭の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>市民生活の向上と豊かなまちづくりのために、市民ひとりひとりが、「自らの健康は自ら守る」という体力づくり運動を推進し、スポーツ・レクリエーションを通して心身の健全な発達とコミュニティスポーツの普及振興を図り、健康で明るく住みよい地域社会をつくる機会とする事を目的として、10月21日に羽生中央公園陸上競技場にて開催する。競技方法は地区対抗による総合優勝制をとりいれ、地区対抗種目による合計得点により順位を決定する。昨年度は台風の影響で中止となったが、今年度は良い天候のもと開催できればと願っている。</p>
<p>報告事項10 羽生市少年野球教室(第2弾)の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>トップアスリート育成事業の一つである少年野球教室の第2弾として、9月1日に羽生中央公園野球場及び羽生市体育館を会場として開催する。昨年度まではプロ野球OBの黒江透修氏を中心とした講師に指導していただいたが、今回は侍ジャパンU-12日本代表監督の仁志敏久氏をメインとした指導者を迎える予定である。今回は一般的な野球教室の他、新しいメニューとして、野球版フィールドテストを行う。このテストは、野球に必要な運動能力テストを行い、その測定データを今後の練習に活かしていくというもので、例えば野球のベース間の距離である30メートルの走力、20メートルスローでの球速等を測定する。</p>
<p>報告事項11 チャレンジtheスポーツ2018の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>7月7日に羽生市体育館にて開催した。参加人数は65歳以上31名を含む108名であった。開会式のムジナもん体操から始まり、握力、上体起こしなどのスポーツ庁による新体力テストを実施し、体力年齢を測定した。その後、健康づくり推進課とタイアップして体脂肪測定、ガン年齢測定による健康チェックを行った。また、フロアカーリングやスポーツ吹き矢などニュースポーツの体験も実施した。小学生から84歳までの参加があったが、年齢別に会場を設けたことにより混雑もなく体力測定から健康チェック、ニュースポーツへの移行ができた。自己の健康状態や体力を認識することができ、今後の生活を改める良い機会になったとの声を多くいただいた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項12 羽生市バドミントン教室の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p> <p>教育長</p>	<p>トップアスリート育成事業の新種目として、バドミントン教室を7月28日に開催する予定であったが、台風12号の影響により、中止とした。</p> <p>報告事項13から15について図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項13 「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座」の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>絵本や伝承あそびのわらべうたを通して、幼い子どもたちが豊かな言葉のリズムや、手あそびに親しむとともに、親子の触れ合いの一助とする。また、「ちいさなおはなし会」に参加するボランティアを育成することを目的として10月15日に市立図書館にて開催する。講師は、昨年と同様に地域文庫「にこにこ文庫」主宰・浦和子どもの本連絡会会員の吉田優子氏を招き、講座の内容は、前半は親子を対象とした絵本とわらべうた、後半はボランティアへのアドバイスを行う予定である。募集人員は、2、3歳の子どもとその保護者15組、わらべうた・絵本に興味のある方・ボランティアとして協力していただける方10名とする。</p>
<p>報告事項14 企画展Ⅱ「屋敷裏遺跡展(仮称)」の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>利根川右岸では現在、国土交通省による首都圏氾濫区域堤防強化対策事業に伴う発掘調査により、羽生・加須地区において多くの埋蔵文化財が発見されている。本展示では、羽生市屋敷裏遺跡の出土遺物を中心に、利根川右岸の発掘調査で発見された資料について取り上げ、歴史の新しい一端を見ていただく機会とする。</p> <p>10月27日から12月2日までの期間において、羽生市立郷土資料館にて開催する。埋蔵文化財調査事業団から借用した資料のほか、屋敷裏遺跡、茂手木遺跡、永明寺古墳出土資料等の郷土資料館が所蔵する資料も展示する。また、埼玉県埋蔵文化財調査事業団の職員による講演会と郷土資料館職員による展示解説会を11月中旬に実施する予定である。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項15 「図書館・郷土資料館まつり」の結果について	図書館長兼郷土資料館長	<p>7月21日に羽生市図書館・郷土資料館にて開催した。館内の各室において、「昔遊びの体験(お手玉、あやとり、紙相撲、福笑い)」、「作って遊ぼう!(CDゴマ作り、紙コップ力士など)」、人形劇ボランティア「くるみ座」による人形劇、大型絵本の読み聞かせ、子ども向けの映画の上映等を行った。郷土資料館で開催する企画展の入館者を含め666人の来館があった。昔の遊び体験や工作では、市民学芸員の協力のもと、子どもたちが夢中で紙相撲やあやとり、紙コップ工作等に取り組み、自分で作る楽しみや、昔の遊びに親しむ良い機会となった。人形劇や読み聞かせでは、大人も子どもも最後まで楽しい時間を過ごすことができた。今後も引き続き来館者に親しまれるような催しを実施していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項について質問・意見を求めた。</p>
	春山委員	<p>高校生インストラクター講座について、介護に役立つハンドセラピーということで、高校生が地域に貢献していくことは、とてもありがたいことであり、高校生の意識を高める良い機会となると思う。</p>
	生涯学習課長	<p>学校に高校生インストラクター講座の開催について相談したところ、ハンドセラピーは誠和福祉高校の授業で行っており、介護の延長であることを市民に教えたいと学校側で選んだ内容である。今後の羽生実業高校、羽生第一高校の講座については、現在調整中であるが、今後の定例教育委員会で報告する。</p>
	柿沼委員	<p>少年野球教室について、前回まで指導者を務めた黒江氏は選手時代はもとより指導者としてかなりの手腕を持っている。指導者が仁志氏に代わってからの黒江氏との関係はどのようになるか。</p>
スポーツ振興課長	<p>少年野球教室では初回より黒江氏を指導者に迎えて実施してきた。今回で通算9回目であるが、今年度2回予定している教室の1回を他の指導者にお願いしてみてもどうかということで、趣向を変えてスポーツ少年団野球部会の伝手で仁志氏に依頼した。黒</p>	

会議事件名	て ん 末	
	平野委員	江氏は次回の第10回で再び指導者をお願いする予定であり、今後も継続していこうと考えている。
	教育長	時が経ち、黒江氏を知らない世代が多くなってきている。年少の世代は仁志氏をよく知っているという現状に合わせ、変えていくことも必要なのではないかと思う。
	生涯学習部長	市民からトップアスリート事業の野球を続けてきたことによって、成果がでてきたと声をかけていただいたことがあり、これも黒江氏のお力があってのことだと思っている。現状を考え2回のうちの1回を良き伝統を繋げるかたちで黒江氏に、もう1回は身近な存在の仁志氏に力添えをいただき、来年度に繋げていきたい。
	教育長	少年野球教室を初めて開催してから10年が経った。長くこの事業を続けることで東中学校が関東大会に出場したり、高校で甲子園に出場する選手がでてきたりと、成果があがってきている。黒江氏は少年野球の指導者に子どもへの指導の仕方や、保護者に食事の面についても教えてくれる。また、新しい指導者による新しいトレーニング方法なども教えてもらいながら、スポーツ少年団野球部会や指導者と相談しながら、今後の方向性を出していきたい。
	春山委員	現在、関東大会に出場し活躍している東中学校の生徒たちは、少年野球教室が始まった頃はちょうど小学校1年生であり、継続することで良い成果が出ている。また、東中学校の卒業生が浦和学院でピッチャーとして活躍し甲子園に出場していることは、羽生市としてとても嬉しいことである。
	生涯学習課長	ムジナモ自生地の保護については、大変な苦勞をしていると思う。今年のムジナモの状況はいかがか。暑い日が続いているが、関わる方々は大丈夫か。
		ムジナモは平成28年には15万株、平成29年には23万株、今年42万株まで順調に増えている。埼玉県のレッドデータブックで野生絶滅というカテゴリに入っており、自然界では生息して

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第38号 羽生市いじめ問題調査審議会委員の委嘱について</p>		<p>いないということになっているので、今後は絶滅危惧種ⅠA類に格上げすることを目標に、ムジナモの株数を維持していきたい。暑い毎日だが、自生地保護に関わる人たちは水のくみ上げ等、元気に頑張っている。また、本日の東京新聞にムジナモが種から発芽したという記事が掲載された。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第38号について学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>羽生市いじめ問題調査審議会委員を委嘱することについて、議決を求める。前委員の任期が満了となるため、医師、弁護士、PTA関係者、識見を有する者、その他教育委員会が必要と認める者から委員5名を委嘱する。任期は、平成30年8月22日から2年間である。</p>
	教育長	<p>議案第38号について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第38号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第38号は、可決した旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育総務課長	9月定例教育委員会は、9月26日 午後1時30分より、教育委員室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。
		教育長 _____
		委 員 _____
		委 員 _____
		書 記 _____